

2024年度 富士日本語学校 自己点検及び評価	
自己評価方法 5 達成している 4 ほぼ達成している 3 どちらとも言えない 2 取り組みを検討中 1 要改善	
■教育の理念・目標	自己評価
学校の理念、目的・目標や育成する人材像が明確となっているか	5
その内容が社会のニーズに合致したものとなっているか	5
厳格な入学選考により、勉学を目的とした学生を受け入れ、徹底した日本語教育及び進学指導に努めている。 日本語のみならず、日本社会で生活する上で必要なルール、マナーについても日々指導を行っている。 卒業後は日本社会及び国際社会で活躍できる人材の育成に努めている。	
■教育活動	自己評価
教育理念等に沿った教育課程が体系的に編成されているか	5
成績評価や進級、修了の判定基準は明確となっているか、また適切に運用されているか	5
教員の指導力向上のための取組、教育課程の改善のための取組が行われているか	5
1年に1度見直しを行い、より適切な教育課程を組むよう努めている。 教員の指導のため適宜研修や勉強会を開催している。	
■教育環境	自己評価
学校の施設・設備が充分かつ安全に整備されているか	5
教材は適切か	5
学習効率を図るための環境整備がなされているか	5
施設・設備は告示基準に合わせて整備している。 教材については都度検討を重ね、学生のニーズに合った教材となるよう適宜調整している。	
■学修成果	自己評価
生徒の日本語力の向上が図られているか、適切に把握しているか	5
生徒の進路を適切に把握しているか	5
学生には定期的に課題を出し、定期テストの他、小テストを頻度を高めに行う等して、学生の日本語力の向上と把握を図っている。 クラスのレベルに合わない学生が出た場合、テストの成績などから適切なクラスを判断し、変更を勧めるなど、ひとりひとりが適した学習進度のクラスで学べるよう、努めている。	
■生徒支援	自己評価
生徒に対する学習相談や進路に対する支援体制が整備されているか	5
健康管理や日本での生活指導などへの支援体制が整備されているか	5
防災や緊急時における体制が整備されているか	5
入学時に個々の進路の希望を把握し、かつ定期的に教員と進路の相談を行なっている。 入学時の説明会で健康管理や生活に関する情報を指導する他、日常的に教員から指導を行っている。 年に一度に健康診断を実施している。 また緊急時対応のために、全ての教員・学生と常に連絡がとれるよう連絡先の把握を徹底している。 地震や火災等の災害に備え、定期的に防災訓練を実施している。	

■入学者の募集	自己評価
入学者の募集は適切に行われているか	5
その際に学校情報は正確に伝えられているか	5
授業料は適切か	5
入学者の募集について厳しい基準を設け、日本語の勉学意思能力の高い学生、安定的かつ継続的な経費支弁能力の有無を慎重に審査し、出入国在留管理局の審査基準に沿った学生を受け入れるよう努力を重ねている。	
■学校運営	自己評価
学校の運営体制が日本語教育機関の告示基準を満たしているか	5
学校の理念や目的に沿った運営方針や事業計画が策定されているか	5
組織運営や人事、財務管理に関する規定や意思決定システム、コンプライアンス体制が整備されているか	4
告示基準の改正に合わせ、都度、基準を満たしているか自主的に点検を行っている。	
■法令遵守	自己評価
出入国管理及び難民認定法令及び各種関係法令等の遵守と適切な運営、個人情報の保護の取組、自己点検の実施と改善及びその公開を適切に行なっているか	4
法務省の法令を遵守している。自己点検を実施し、改善項目を明確にする事で学校のより良い運営を目指している。個人情報の取り扱いについても、今後更に徹底していく。	
■財務	自己評価
中長期的に財務基盤は安定しているか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5
財務について会計監査は適切に行われているか	5
財務情報の公開の体制はできているか	4
新型コロナウイルスの影響で入国できない状況が続いていたが、入国緩和後は新生入生が安定して入学しており、安定した学校運営を行っている。	
■地域貢献・社会貢献	自己評価
日本語教育機関の資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、生徒のボランティア活動への支援、公開講座等の実施などの取組を行なっているか	4
地域のボランティア活動やイベントを学生に案内して、学生のボランティア活動や地域との交流を図っている。新型コロナウイルス収束後、再開した地域のイベント等への参加、及び近隣の清掃活動などを通じて、地域との交流や地域貢献を検討していく。	